

第5期

事業報告書（概要）

自 令和4年4月 1日

至 令和5年3月 31日

株式会社 南紀白浜エアポート

第5期 事業報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日まで)

1. 事業の概況

(1) 事業の経過と成果

2022年の日本経済は、新型コロナウイルスの影響、ウクライナ情勢の悪化、円安の影響など多くの不安材料が存在し、経済環境も大きな影響を受けることとなりました。

特に東南アジアの新型コロナウイルスによるロックダウンは機械部品、食料品をはじめ多くの商品の物流をストップさせ、供給不足によって価格が上昇し、仕入れ価格が高騰、さらに2022年2月からのロシアによるウクライナ侵攻や米国の金融引き締め政策による円安により、石油や天然ガスなどを中心に輸入価格が高騰し、石油燃料、電気等の急激な価格上昇を招き、コロナ禍からの回復基調にあった日本経済も大きな影響を受けました。

航空業界におきましても燃油の急騰と国内での新型コロナウイルス第7波(7月～9月期)の影響により、上向きかけた国内航空需要も再び減速することとなりました。

このような厳しい2022年度の経済状況及び航空業界ではありましたが、当空港の搭乗旅客数が2022年3月より上昇に転じ、今期の搭乗者数は23万人を超え、過去最高の搭乗者数であった2019年度(177,135人)を3割超上まわる搭乗者数を記録し、月別の搭乗者数におきましても4月～3月期まで過去最高を記録、他空港との比較においても突出した伸び率となりました。

また、2月には4便トライアルも実施され閑散期ではありましたが、搭乗率58.5%を記録し、4便化への礎を築くことができました。

次に当社の2022年度の主な取り組みについてでございますが、まず空港DX事業関連では3D-LiDARを活用した滑走路上の異物検知やドライブレコーダー×AIを活用した実証実験事業を行いドライブレコーダー×AIが土木学会インフラメンテナンス総合委員会が主催する「2022年度インフラメンテナンスプロジェクト賞」を受賞しました。

また、NEC社と進めている「MR空港見学会」がMCPCAward2022(先進的なモバイル活用事例の表彰)において「モバイル中小企業賞」を受賞し、空港DX取り組みでの一定の評価を得ることができました。

地域活性化事業においては、ワーケーションの聖地として企業向けのご当地研修プログラムを企画し、NEC、アイレップ、情報サービス産業協会等の企業団体が利用し、当空港で行った映画撮影(東京MER)では、延べ600人の宿泊を手配する等、旅行業収益アップに繋げることができました。

また、観光庁より正式に地域連携DMOへの認定、有償の空港バックヤードツアーの実施等、多種多様な事業を実践し、地域活性と収益アップに貢献することができました。

その他の事業では、県との協議合意事項に基づき10月より近場に設置の既存駐車場を有料化し(タイムズ転貸運営管理)、旧空港の一部を県より賃貸することにより第2駐車場(無料)を設置しました。これにより駐車場の利用者のすみ分けができ駐車場の満車問題を解決することができました。

以上の結果により、当期南紀白浜空港の国内線旅客は、定期便で 231,319 人（前年比 91,118 人増）、チャーター便で 760 人（同 716 人減）となり、旅客数合計では 232,079 人（同 90,402 人増）と、旅客数は大幅に増加し、開港以来、最高の旅客数となりました。

当期業績としましては、空港運営事業収入は 346,543 千円、ターミナルビル事業収入は 113,977 千円、任意事業収入は 60,428 千円で営業利益は 48,884 千円、営業外損益及び特別損益を計上した結果、当期純利益 31,976 千円を計上いたしました。

（２）設備投資の状況

新ビルの運営開始に備えて 2 階にエアコンの設置と床タイル張り工事を施工し、新規無料駐車場にはソーラー型外灯を新たに設置しました。

（３）資金調達の状況

該当事項はありません。

（４）重要な企業結合等の状況

該当事項はありません。

（５）直前 3 事業年度の財産および損益の状況

区分	令和 2 年度 第 3 期	令和 3 年度 第 4 期	令和 4 年度（当期） 第 5 期
営業収益（千円）	470,119	505,590	520,949
当期純利益（千円）	48,397	50,253	31,976
1 株当たり当期純利益（円）	2,150	2,233	1,421
純資産（千円）	449,418	499,672	531,649
総資産（千円）	786,970	830,686	872,474

（６）対処すべき課題

昨年に引き続き、重大事故、事案の発生ゼロを目標とし、日頃より役職員から安全情報の収集を行い、安全・保安維持に努めております。また、コロナ禍終息後の定期便搭乗旅客の回復に向けて営業活動を鋭意努めてまいります。

（７）重要な親会社および子会社の状況

親会社の状況

当社の親会社は株式会社経営共創基盤であり、同社は当社の議決権株式を 93.33%保有しています。

(8) 主要な事業内容

南紀白浜空港特定運営事業等に関する一切の業務

(9) 主要な事業所

本社 和歌山県西牟婁郡白浜町才野1622番地の125

(10) 従業員の状況 (令和5年3月31日現在)

30名

(11) 主要な借入先の状況 (令和5年3月31日現在)

借入先：紀陽銀行 借入金残高 174,375千円

2. 会社の概況

(1) 株式に関する事項 (令和5年3月31日現在)

- ①発行可能株式総数 450,000株
- ②発行済株式の総数 22,500株
- ③株主数 3名

株主名	当社への出資状況	
	株式数	議決権数の割合
株式会社経営共創基盤	21,000株	93.33%
株式会社みちのりホールディングス	1,000株	4.44%
株式会社白浜館	500株	2.22%

(2) 会社役員等の状況 (令和5年3月31日現在)

①取締役及び監査役の状況

地位	氏名	担当及び他の法人等の代表状況等
代表取締役社長	岡田 信一郎	
取締役	富山 和彦	IGPIグループ会長
取締役	松本 順	(株)みちのりホールディングス代表取締役グループ CEO
取締役	中田 力也	(株)白浜館代表取締役社長
監査役	中村 久美子	(株)インターアクトジャパン代表取締役社長

②取締役及び監査役の報酬等の総額

区分	支給額
取締役及び監査役の報酬等の総額	18,240千円

(3) 会計監査人に関する事項

- ①名称 東陽監査法人
- ②会計監査人の報酬等の額 3,600千円

貸借対照表

令和5年3月31日現在

【単位：千円】

	科 目	金 額
資産の部	流動資産	553,299
	固定資産	319,175
	合 計	872,474
負債及び純資産の部	流動負債	139,406
	固定負債	201,419
	株主資本	531,649
	資本金	100,000
	資本剰余金	125,000
	資本準備金	107,500
	その他資本剰余金	17,500
	利益剰余金	306,649
	その他利益剰余金	306,649
	(うち当期純利益)	(31,976)
	合 計	872,474

損益計算書

自 令和4年4月 1日

至 令和5年3月31日

【単位:千円】

科 目	金 額
営業収益	520,949
営業費用	472,064
営業利益	48,884
営業外収益	109
営業外費用	1,628
経常利益	47,365
特別利益	12,131
特別損失	12,131
税引前当期純利益	47,365
法人税等	15,388
当期純利益	31,976